

第 14 章	社会(公民)	名前:	日 付	No.01
	財政			

[問題 1]

次の文の①～⑤に適語を入れなさい。

国の 1 年間の収入を(①)、支出を(②)という。国がさまざまな収入を得てさまざまな分野に支出する活動を(③)という。そのために国は 1 年間の収入や支出の計画を立てて(④)とする。この(④)は毎年(⑤)で承認されてから実行に移される。

[解答欄]

①歳入	②歳出	③財政	④予算	⑤国会
-----	-----	-----	-----	-----

[解説]

政府のおこなう経済活動を**財政**という。国の 1 年間の収入を**歳入**、支出を**歳出**という。歳入の中心は税金(租税)であるが、最近は借金である国債の割合が異常に高くなっている。税金等で集めた資金を使って、政府は、**公共サービス**を提供したり、**社会資本**を充実させたりする。国は毎年 12 月までに 1 年間の歳入と歳出の計画を立てて**予算**を作成し、翌年の 1 月の通常国会に予算案を提出する。国会で審議されて承認された後、4 月からの新年度から予算が実行される。

【財政】

財政 { 歳入 ← 租税
歳出 → 公共サービス
社会資本

[問題 2]

次の文の①～④に適語を入れよ。

政府は必要な資金を、個人の家計や民間の(①)から(②)という形で集める。この収入を元手に民間(①)では供給されにくい(③)資本とよばれる施設などを建てる。また、教育や医療などの公共(④)の提供も行う。

[解答欄]

①企業	②税金(租税)	③社会	④サービス
-----	---------	-----	-------

[解説]

財政には、1)社会資本や公共サービスの提供、2)所得の再分配、3)景気変動の調整という 3 つのはたらきがある。まず 1)の**社会資本や公共サービスの提供**について説明しよう。本来、経済活動は市場原理に任せることが原則である。しかし、もし政府の経済活動がまったくなければどうなるだろうか。道路を例にとって説明しよう。一般の道路の場合、通行料を徴収することは現実的には無理である。したがって、民間企業が資本を投下して道路の整備を行い、それをもとに収益をあげるなどということは不可能である。道路が整備されなければ、いくら立派な工場を建設しても、原料や製品を輸送することができない。マイカーを買っても、走る道がなければ、何の役にも立たない。道路、港湾、空港、上下水道、図書館、学校、公園などのように、特定の人でなく社会のすべての人が利用することのできる施設・設備を**社会資本**というが、**社会資本の整備は、政府や地方公共団体の役割なのである**。また、警察・消防・防衛・教育・医療・福祉などの**公共サービス**も主として政府や地方公共団体の仕事となる。政府や地方公共団体は、家計や企業から集めた**税金**を財源として社会資本の整備を進め、公共サービスを提供している。

【財政の3つのはたらき】

- ・ **社会資本や公共サービスの提供**
- ・ 所得の再分配
- ・ 景気変動の調整

[問題 3]

財政のはたらきには、ア 公共施設や公共サービスの提供、イ 景気の調節、ウ 所得の再分配などがあります。次の①～③のことがらは、それぞれア～ウのどののはたらきにもっともよくあてはまりますか。

- ① 学校や保育園などをつくる。
- ② 不景気になると公共事業を増やす。
- ③ 社会保障の充実

[解答欄]

① ア	② イ	③ ウ
------------	------------	------------

[解説]

【財政の3つのはたらき】	
・ 社会資本 や 公共サービス の提供	
・ 所得の再分配	← 累進課税
・ 景気変動の調整	← 財政政策

財政には、1)社会資本や公共サービスの提供、2)所得の再分配、3)景気変動の調整という 3 つのはたらきがある。

1) **社会資本(公共施設)や公共サービスの提供**

これについては、すでに説明した。

2) **所得の再分配**

財政には、「所得の多い人から多くの税金を徴収し、それを所得の低い人に分配し直す」という **所得の再分配** のはたらきがある。

日本では、所得が多くなればなるほど税率が高くなるという **累進課税** の制度がとられている。

こうして集めた資金を使って、社会資本や公共サービスを提供する。社会保障の 1 つとして公的扶助(生活保護)がある。申請を行って、病気などの事情で働くことができず生活を維持することができないと認定された場合、月額 8～13 万円ほどの給付を受けることができる。その資金の一部は、高額納税者の納めた税金である。この場合、高所得者から低所得者へ所得の再分配を行うととらえることができる。社会福祉や社会保険などの社会保障についても同じように所得の再分配が行われる。

3) **景気変動の調整**

資本主義初期のころは、政府の経済活動は最小限にとどめるのがよいと考えられていた。財政も歳入と歳出をつりあわせるべきものとされていた。景気が悪いときには税金が減少するので、それにあわせて支出をおさえるというのが常識であった。

しかし、1929 年の世界大恐慌など、資本主義経済は何度となく深刻な不況に見舞われた。そこで、発想の逆転を行って、不景気のとき、政府は赤字財政になってもかまわないから **公共事業などへの投資を増やしたり、減税をおこなったりして需要を増やす** べきという考え方(ケインズ経済学)が有力になった。ケインズの有効需要の理論によれば、例えば、1 兆円の公共投資を行った場合、建設会社に 1 兆円の工事費が支払われて 1 兆円分の需要が作り出される。建設会社は資材会社などに例えば、受注額の 8 割にあたる 0.8 兆円の資材を発注する。資材会社は、さらに別の会社に部品を発注する…。このように、需要が次の需要をよび起こす場合、最初の公共投資額の何倍にもあたる需要が作り出される。

景気が回復して、さらに景気が過熱してきたときは、公共投資を減らしたり増税を行ったりして需要を減らして、インフレーションをおさえる。(同時に、黒字になった分で過去の赤字を解消する。) このように、政府の財政活動によって、景気変動のふれ幅を調整することを **財政政策** という。

[問題 4]

次の各問いに答えなさい。

- (1) 政府や地方公共団体が税金をもとに提供する教育施設や道路・港湾など社会全体に必要な公共施設をまとめて何といいますか。
- (2) 所得税では、所得が多くなればなるほど税率を高くする方法がとられています。このような課税方法を何といいますか。
- (3) ①景気が悪くなると行う政府の対策を何といいますか。②また、具体的にどのようなことを行うか、簡単に書きなさい。

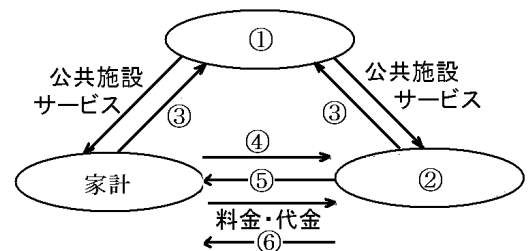
[解答欄]

(1) 社会資本	(2) 累進課税	(3) ①財政政策
②減税を行ったり、公共投資を増やしたりして、消費や生産の活動を活発にしようとする。		

[問題 5]

右の図を見て、次の各問いに答えなさい。

- (1) 図中の①～⑥にあてはまる語句を、下から選んで書きなさい。
[もの・サービス 賃金 政府 企業 税金 労働]
- (2) 図のように三者の間でお金・もの・サービスが交換されていく経済のしくみを何といいますか。
- (3) あなたの家で国や地方公共団体から具体的にサービスをうけているものを2つあげなさい。



[解答欄]

(1) ①政府	②企業	③税金	④労働
⑤賃金	⑥もの・サービス	(2) 国民経済	(3) 中学校の教育、ゴミ処理

[解説]

政府・家計・企業の間でお金・もの・サービスが交換されていく経済のしくみを**国民経済**という。

1) 政府と家計

政府や地方公共団体は、家計から徴収した**税金(租税)**を使って、**公共施設や公共サービス**(教育・消防・ゴミ処理・上下水道など)を提供する。公務員の家計の場合は、家計は労働を提供して、政府から賃金を受け取る。

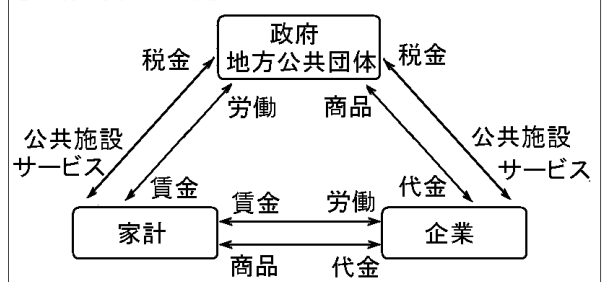
2) 政府と企業

政府や地方公共団体は、企業から徴収した**税金**を使って、**公共施設や公共サービス**(道路・港湾など)を提供する。企業は政府に商品やサービスを納入し代金を受け取る。

3) 家計と企業

家計は企業に**労働**を提供し、**賃金**を受け取る。(家計から資金を提供している場合は利子や配当も受ける。) また、家計は企業から**商品やサービス**を購入して、その**代金**を支払う。

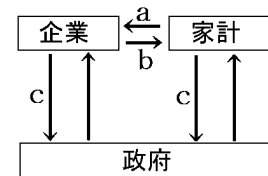
【政府・家計・企業】



[問題 6]

右の図は、国民経済のしくみを示している。図中の a～c にあてはまるものを、それぞれ下から記号で選びなさい。

- ア 公共事業の発注 イ 税金を払う
ウ 労働力を提供 エ 公共サービスの提供
オ 海外援助 カ 賃金を支払う



[解答欄]

a ウ	b カ	c イ
------------	------------	------------

[問題 7]

次の各問いに答えなさい。

- (1) 所得税について、所得の多少に応じて税率を決める方法を何というか、答えなさい。
(2) どうして(1)のような方法をとっているのか簡単に説明しなさい。

[解答欄]

(1) 累進課税	(2) 税は支払い能力に応じて負担すべきだから。
-----------------	---------------------------------

[解説]

【累進課税】 所得税・相続税: 累進課税 所得が高いほど税率を高くする制度 根拠: 税はそれぞれの支払い能力に応じて負担すべき 効果: 所得の再分配

所得が多くなるにつれて税率を高くする課税の方法を**累進課税**といい、所得税と相続税ではこの課税方法がとられている。

累進課税は、**税はそれぞれの支払い能力に応じて負担すべき**だという考えかたにたっている。

累進課税制度は、高額所得者からより多くの税を徴収し、社会保障制度などを通じて低額所得者に分配するはたらきをもつ。これを**所得の再分配**という。

[問題 8]

所得税と相続税には、累進課税という方法がとられている。その仕組みを正しく示したものを次の表の
ア～エから選んで記号で答えなさい。

所得	税額			
	ア	イ	ウ	エ
500 万円	50 万円	50 万円	50 万円	50 万円
1000 万円	50 万円	100 万円	200 万円	40 万円
1500 万円	50 万円	150 万円	450 万円	30 万円

[解答欄]

ウ

[解説]

所得額が増えるにつれて税金は大きくなるので、アとエは明らかに誤りである。イは所得がいくらであっても
税率は 10% になっている。ウについては、

所得が 500 万円のときは、 $50(\text{万円}) \div 500(\text{万円}) = 0.1 = 10(\%)$

所得が 1000 万円のときは、 $200(\text{万円}) \div 1000(\text{万円}) = 0.2 = 20(\%)$

所得が 1500 万円のときは、 $450(\text{万円}) \div 1500(\text{万円}) = 0.3 = 30(\%)$

と、所得が増えるにしたがって税率が大きくなっているので、累進課税になっている。

※この問題における「所得」は実際の所得から控除分を差し引いた課税対象所得である。